

PRESS RELEASE

2017年3月1日

野村不動産ホールディングス株式会社

報道関係者各位

住まいと暮らしの駆けつけ新会社「ファースト リビング アシスタンス」設立 クライアント企業と消費者をつなぐ、住まいと暮らしの駆けつけ事業に参入

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：沓掛 英二）は、「住まいと暮らしの駆けつけ事業」の参入に向けて、株式会社プレステージ・インターナショナル（以下「PI」、本社 東京都千代田区/取締役社長：玉上進一）と共同出資による新会社「株式会社 ファースト リビング アシスタンス」（以下「FLA」）を2017年3月1日に設立いたしました。

■ 住まいと暮らしの困りごとを解決するサービスを通じてクライアントとクライアントカスタマーをつなぐ

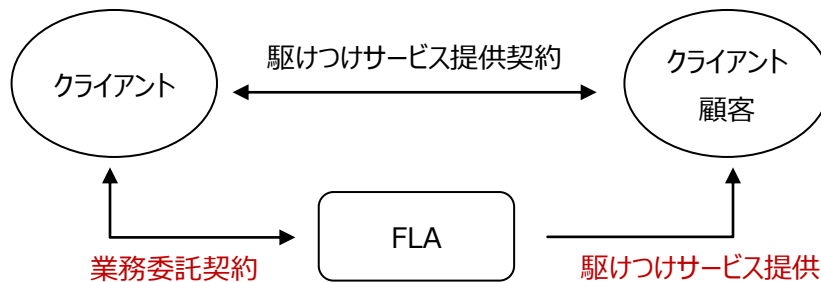
野村不動産グループでは、これまで、当社グループが提供してきた住宅に関して、住まいに関する困りごとに対応するために

・2010年 住まいの不具合に対する緊急時駆けつけサービス 「リビングQコール」

・2013年 新築分譲住宅有償メンテナンスプログラム 「ネクストパス10」

をPIとの業務提携により開発・提供し、大変好評を得てまいりました。

今回、FLAでは、お客様の資産価値向上につながる先進のサービスを開発し、グループのお客様の一生涯に亘る満足最大化を図るとともに、PIとの協働により開発する高品質の「住まいと暮らしの駆けつけサービス」をグループ企業外にも展開、クライアント企業の顧客に対してサービスを提供するビジネスを行います。



FLA がクライアントに提供する価値

- クライアントが展開する事業の付加価値向上
- CS（カスタマーの満足）
- CRM（カスタマーとの関係構築）

サービス内容

- 駆けつけと不具合の修繕サービス（水道・電気・建具等）
- 住宅設備機器の保証サービス
- 定期点検とメンテナンスサービス 等

「住まいの専門家が自宅にお伺いして、困りごとを解決する」というサービスを通じて、暮らしに関わる様々な業界のクライアント企業とその顧客をつなぐ事業を展開いたします。野村不動産グループは、PI という事業パートナーを得て、グループ各社の連携により総合力を発揮し、住宅事業者として本格的に「住まいと暮らしの駆けつけ事業」に参入いたします。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

■住宅ストック活用型市場 形成に向けて

我が国の住宅市場においては「住宅ストック活用型市場の形成」が重要な課題となっています。その実現のためには、「既存住宅の品質への不安を軽減し、安心して取引できるしくみ」づくりが必要であり、我が国の住宅政策※として「建物インスペクションの導入」「瑕疵保険商品の充実」など、既存住宅の価値向上のための施策が進められています。

FLA は、本事業により広く一般消費者に「駆けつけ修繕・点検メンテナンス・住宅保証」といったサービスをお届けすることを通じて、「住まいをメンテナンスして長く使う」文化の形成と、その仕組みづくりに貢献してまいります。クライアント企業とお客様をつなぐ事業モデルの開発を通じて、循環型住宅市場形成へ向けたモデルケースとなる先進的な取り組みにチャレンジしてまいります。

※ 住生活基本計画（全国計画）

■新会社の概要

名称	株式会社 ファースト リビング アシスタンス (First Living Assistance Co., Ltd.)
本店所在地	新宿区西新宿 6 丁目 26 番 12 号
資本金	資本金 1 億円・資本準備金 1 億円
株主および 持ち株比率	野村不動産ホールディングス 51% プレステージ・インターナショナル 49%
代表取締役	岩切 真吾
取締役	田中 久雄
	成田 宗行
	田嶋 誠
	金子 泰久
監査役	井本 登啓
設立日	2017 年 3 月 1 日
営業開始	2017 年 4 月 1 日

■新会社ロゴマーク



○FとLとAの3つの文字が力強く繋がるロゴマークは、ファーストクラスの上質なサービスにより生み出す

「クライアントとお客様の絆」「クライアントとFLAの絆」「お客様とFLAの絆」を表現しています。

○ロゴマークの深い青は、安心と信頼、上質なサービスを表現しています。

あしたを、つなぐ